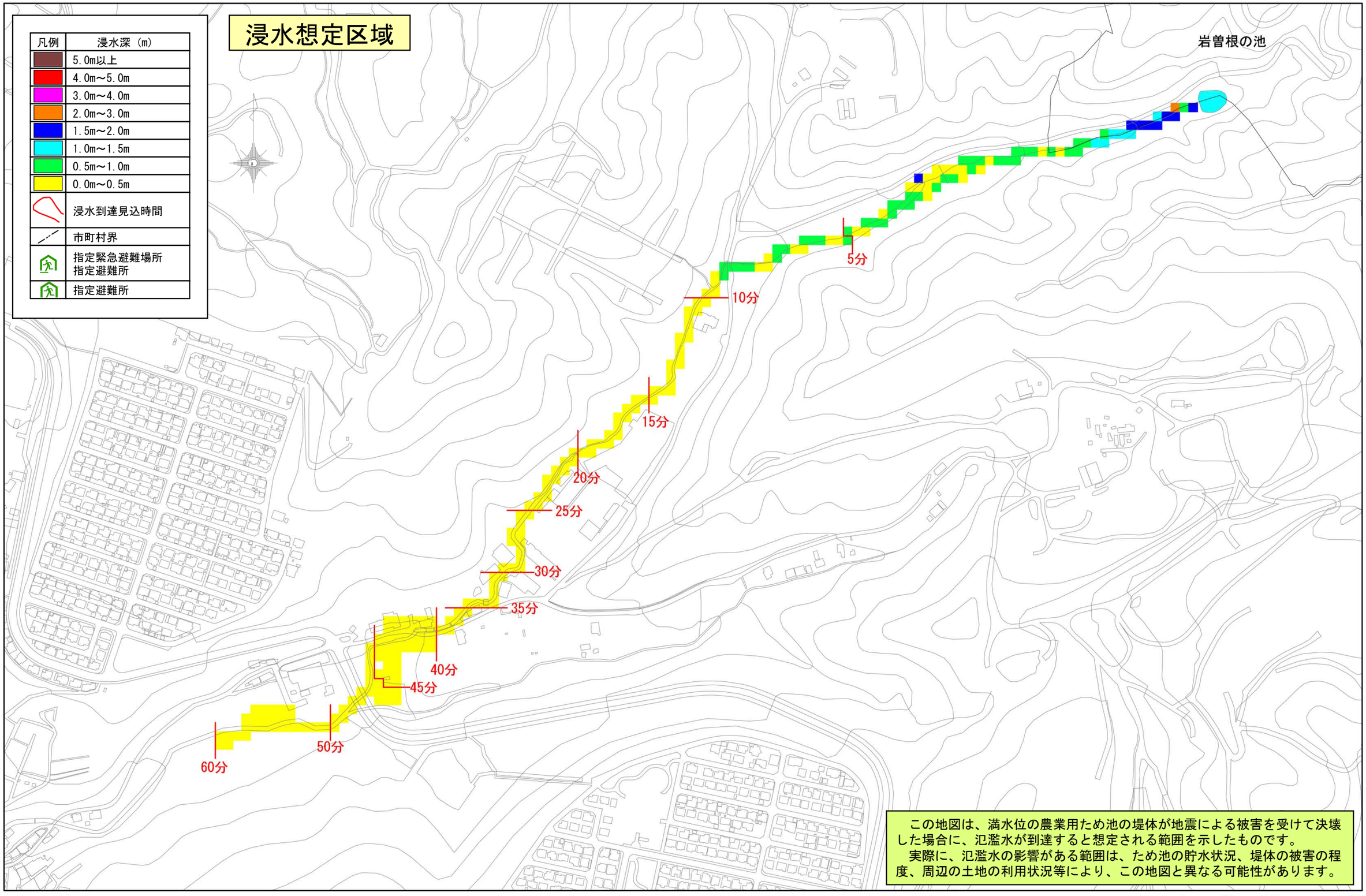
多治見市　岩曽根の池ハザードマップ



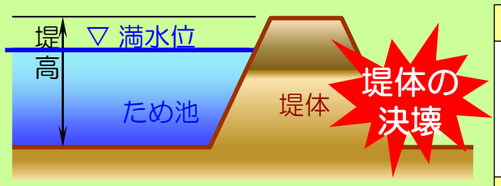
この地図は、満水位の農業用ため池の堤体が地震による被害を受けて決壊した場合に、氾濫水が到達すると想定される範囲を示したものです。
実際に、氾濫水の影響がある範囲は、ため池の貯水状況、堤体の被害の程度、周辺の土地の利用状況等により、この地図と異なる可能性があります。

S=1:4,000　0　50　100　200m

ため池の役割

ため池は、多治見市地内の農地をかんがいするために造られた貯水池です。ため池の主な役割は、水田などに安定して用水を供給することですが、防火用水としての利用や人命・住宅・農地・道路などを洪水から守るための洪水調整機能の役割も担っています。また、美しい景観や親水空間を提供するとともに、水辺の生物多様性を支える重要な役割を果たすなど、豊かな多面的機能を有し、地域の大切な施設となっています。

ため池の規模



名　　称	岩曽根の池
堤　　高　　(m)	9.32
総貯水量　　(㎥)	1,500
最大流出量(㎥/s)	54.075
流出継続時間(分)	1

最大流出量　：1秒間に流出する水の最大量
流出継続時間：ため池から水が流出し続ける時間

浸水区域図作成の条件

堤体決壊条件

ため池が満水状態(総貯水量を貯水している状態)において、地震が発生した場合を想定しています。そのため、決壊が瞬時に起こると仮定し、解析を行っています。

浸水想定区域とは

浸水想定区域は、最大流出量(左記参照)と、周辺の地形条件から、解析ソフトにより得られたシュミレーション結果を示したものです。そのため、降雨や河川の水による浸水への影響は考慮していません。

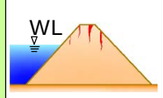
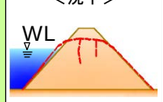
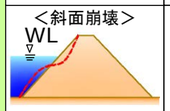
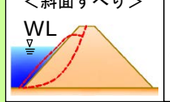
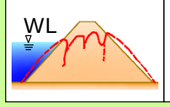
大雨による決壊の場合には、降雨および河川の水量が加わってきますので、浸水区域がさらに拡がる可能性があります。

堤体が決壊する被災形態とメカニズム

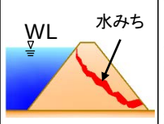
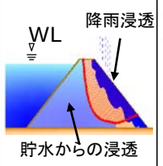
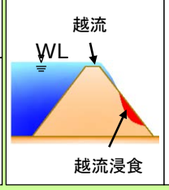
地震および豪雨により堤体が決壊する被災形態、及びその被災メカニズムは下記のことが想定されています。

堤体の異常に気がついたら、防災関係機関などに緊急連絡するとともに、浸水想定区域の外に退避するようにしてください。

地震により堤体が決壊

被災形態	被災のメカニズム
＜クラック＞ 	堤体の頂部などにクラック(亀裂)が発生する場合があります。堤体の上下流方向に生じるクラック(亀裂)は水みちとなることがあり、特に注意が必要です。
＜沈下＞ 	堤体の形状をほぼ保ち、クラック(亀裂)などを伴いながら堤体が沈下する場合があります。多くは軟らかい地盤で発生しています。
＜斜面崩壊＞ 	堤体法面の上部が沈下し、下部がはらんで変形が生じる場合があります。
＜斜面すべり＞ 	地震動により堤体の法面にすべりが発生する場合があります。
＜崩壊＞ 	堤体や地盤が大きく変化し崩壊する場合があります。決壊に至ることが多く、堤体や基礎地盤の液状化によるものと考えられます。

豪雨により堤体が決壊

被災形態	被災のメカニズム
＜浸透破壊＞ 	堤体内部が劣化して、水を遮る機能が低下し、貯水位が上昇したときに堤体の中の水圧も上昇して強度が低下し、破壊する場合があります。また、堤体内に上流から下流に向かう水みちが発生し、破壊する場合があります。
＜すべり破壊＞ 	貯留した水と降雨が堤体の中に浸透して、堤体内部の水分量が増加し、堤体の法面部の強度が低下することによって、法面部ですべりが発生し破壊する場合があります。
＜越流破壊＞ 	豪雨により、貯水位が急激に上昇し、堤体を越えて流れ出し、下流斜面を流下することによって、破壊する場合があります。また、貯水位の上昇により、堤体内の水圧も上昇し、強度が低下して破壊する場合があります。

避難するときの注意事項

地震による堤体の決壊は、予測が難しいうえ、浸水の到達時間が早いので、事前に備え、自主的に浸水区域の外に避難できるようにしましょう。

ため池の決壊と大雨が重なる時は、浸水想定区域よりも浸水範囲が広がったり、水深が深くなる恐れがありますので、注意してください。

日頃からの準備

我が家の避難経路・避難場所

被害が想定される位置を確認し、いざという時の我が家の避難経路、避難場所、連絡方法を家族で決めておきましょう。

非常持ち出し品の事前準備

荷物は最小限の物にし、いつも取り出しやすい一定の場所に保管しましょう。保存期間等に注意し、交換・補充するようにしましょう。

浸水想定区域外への避難

火元確認を

避難する前に、電気のブレーカー、ガスの元栓、ストーブのスイッチを切るなど火元を消しましょう。

自主避難を

大きな揺れ（屋内では、棚にある食器類が落ちる。屋外では、電柱が揺れる等）があり危険を感じたら、自主的に避難しましょう。

避難時の注意事項

動きやすい服装で

丈夫な靴、動きやすい服装で、安全な経路を通って徒歩で避難しましょう。単独行動は避け、二人以上での避難を心がけましょう。

浸水は、浅くても危険

水深がヒザまで来ると、歩くことが困難になります。水深が浅くても、流れに勢いがある場合には、むやみに歩き回ることは避けましょう。

車での避難は避けて

車での避難は、交通渋滞を招き、緊急車両通行の妨げになります。特別な場合を除き、徒歩で避難しましょう。

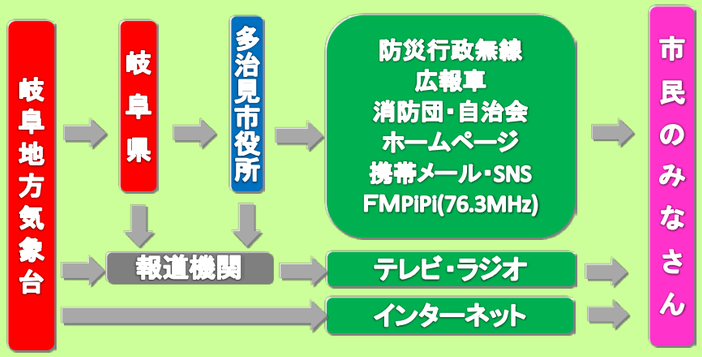
万が一、逃げ遅れたときは

万が一、避難が遅れ、危険が迫ったときは、近くの丈夫な建物の２階以上へ逃げましょう。

各種情報（インターネット・ホームページ他）

関 連 情 報	アドレス	発 信 元
気象・災害・防災	https://www.city.tajimi.lg.jp/	多治見市役所
防災防犯メール	t-tajimi@sg-m.jp に空メール送信	多治見市役所
防災	http://www.pref.gifu.lg.jp/bousai/	岐阜県総合防災ポータル
道路情報	http://douro.pref.gifu.lg.jp/Road_Maintenance/kisei.asp	岐阜県
防災気象情報	http://www.jma.go.jp/ http://www.jma-net.go.jp/gifu/	岐阜地方気象台

情報の伝達経路



緊急時の連絡先

ため池の異常や漏れ、決壊など気づかれた場合は、関係機関等に一報を入れてください。

名　　称	電話番号	住　　所
多治見市役所	0572-22-1111	多治見市日ノ出町2-15
可児川防災等ため池組合	0574-62-1230	可児市広見1-5（可児市総合会館）
東濃農林事務所	0572-23-1111	多治見市上野町5-68-1
多治見土木事務所		
多治見警察署	0572-22-0110	多治見市宝町6-65
多治見市消防本部（南消防署）	0572-22-9217	多治見市三笠町2-21

災害用伝言ダイヤル
171

NTT無料

伝言を登録
171 → 1 → 被災者の電話番号 → 伝言の録音

伝言を聞く
171 → 2 → 被災者の電話番号 → 伝言を再生

指定緊急避難場所・指定避難所一覧

＜共栄地区＞

避　難　所	所在地	電話番号
共栄小学校	高田町3-64	0572-22-0833
共栄保育園	高田町3-64	0572-22-2507
たじみ陶生苑	小名田町小滝5-411	0572-50-0081
共栄児童館	高田町6-40	0572-23-9230
小名田公会堂	小名田町3-263	0572-23-6188

この地図は、多治見市が作成したものです。

多　治　見　市　役　所
〒507-8703
多治見市日ノ出町2丁目15番地　TEL 0572-22-1111（代）